

ティーボール活動における新型コロナウイルス感染症対策基準

とやまティーボール推進委員会

新型コロナウイルス感染症からすべての方を守り、安心・安全なティーボール活動（以下、「活動」と称する。）が実施できるよう、感染症対策基準を策定し「新しい生活様式」を実践することとします。

なお、富山県が発表する「新型コロナウイルス感染症に打ち克つためのロードマップ（2020.5/13 策定、2020.9/16 一部修正、2021.2/1 改正）」において『Stage 2』発令時はすべての活動を自粛します。

I. 基本的な考え

- (1) 3つの密（密閉、密集、密接）を回避し、ソーシャルディスタンスを意識する。
- (2) 参加者および主催者などの体調を把握する。
- (3) 活動時以外は原則マスクを着用する。
- (4) こまめな手洗いやアルコールによる手指および共有物の消毒を徹底する。
- (5) 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を推奨する。
- (6) 命を守るための行動を最優先にする。

(Google Play)



(App Store)



II. 活動前

- (1) 以下に該当する方は活動に参加させない。
 - ① 平熱を超える発熱、咳、喉の痛み、味覚・嗅覚異常、だるさ、息苦しさなどのある方
 - ② マスクを準備していない方
 - ③ 活動前2週間の健康状態を把握していない方
- (2) 参加費などは事前に授受を行う。
- (3) 施設利用を伴う場合は、選定時に会場の広さ・定員・換気設備などの状況を確認し、施設が定めるガイドラインを遵守する。
- (4) 大会および講習会などに申込み後、罹患され（濃厚接触者を含む）当日キャンセルを行う場合は必要経費を差し引いて返金を行う。また、Stage 2 発令による場合も同様とする。

III. 活動中および活動後

- (1) 人との間隔に十分注意し円陣などは控え、ミーティングも短時間で行う。
- (2) 大声援、歌唱、大声での会話は行わない。
- (3) ハイタッチなどの身体接触を伴う行為は控える。
- (4) タオル、ペットボトル、コップ、メガホンなどの共用は避ける。
- (5) 鼻水、唾液などが付いたゴミや使用済みマスクなどは必ず持ち帰る。
- (6) 活動後の健康管理を実施し、潜伏期間である14日間以内に「新型コロナウイルス感染症（疑い含む）」と医療機関などで診断された方は主催者（とやまティーボール推進委員会）まで必ず連絡を行う。

IV. ジュニアティーボール大会

- (1) 入退場時、受付時および開催中の密集・密接を最大限回避する。
- (2) 来場者が1000人(目安)を超えないよう運営方法を考慮する。
- (3) 攻守決めは行わず、トーナメント表番号の若い方を一塁ベンチ、先攻とする。
- (4) 試合前後の挨拶は、一・三塁線上に整列して実施する。
- (5) バット(ナガセケンコー、アカバネ:S・Mのみ/L使用禁止、ミズノ:70cm・76cmのみ/84cm使用禁止)、ビブス(通番1~10番/同一色・色不問)は参加チームで準備する。(バットは日本ティーボール協会公認用具とする。)
- (6) 共有物を触った手で目・口・鼻を触らないようチーム責任者が指導を行う。
- (7) 自分の試合会場以外の会場へ行かないようチーム責任者が指導を行う。

V. TTA 公認指導者認定講習会

- (1) 座学と実技を行う場合はその順番を考慮し、可能な範囲で時間短縮に努める。
- (2) 身体接触のある実技はなるべく避け、口頭や動画・画像などを活用して説明を行う。
- (3) 開閉講式の挨拶および講師紹介などは出来る限り短時間(書面配布)で行う。
- (4) 会場は常時換気を行い、休憩時にはマイクなどの消毒作業を行う。

VI. その他

- (1) 大会本部や放送室などは常時換気を行う。
- (2) 参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したと報告があった場合は関係機関などに連絡を行う場合がある。(プライバシーは確実に守ります。)

2020年 10月 策定

2021年 3月 改定

(参考資料)

新型コロナウイルス感染症に打ち克つためのロードマップ(富山県)



催物(イベント等)の開催について

全国的又は大規模なイベントの開催にかかる事前チェックリスト(富山県)



スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン

(公益財団法人日本スポーツ協会)



講習会・研修会開催における新型コロナウイルス感染症対策について

(公益財団法人日本スポーツ協会)

